

特集

水道通水70周年

おいしい水 サステイナブルな未来
—これまでもこれからも、ずっと送り続ける 安心と安全—

川西市の水道は、昭和29(西暦1954)年に池田市からの受水により給水を開始しました。その後、昭和33(西暦1958)年に猪名川を水源とした松山浄水場(現：出在家健幸公園)が出在家町に完成し、待望の自己水源による水道水の給水を開始しました。以来、市民のみなさんに、毎日のくらしや産業に欠かせない安心で安全な水道水を送り続け、令和6(西暦2024)年で70周年を迎えます。



水道通水70周年を記念して
ロゴマークを作成しました

川西市上下水道局では水道通水70周年を記念してロゴマークを作成しました。
今後はこのロゴマークを活用し、水道通水70周年を広く周知していきます。



おいしい水 サステイナブルな未来
水道通水70周年 川西市上下水道局

「これまでもこれからも、ずっと送り続ける 安心と安全」をキャッチフレーズに、みなさんに安心で安全な「おいしい水」を送り続け、「サステイナブル(＝持続可能)な未来」の実現をめざしていきます。